



研究の現場を見てみよう!

国立環境研究所福島支部で行っている研究内容について紹介します。

○ 魚に取り込まれる放射性セシウムを調べる

原発事故から8年が経過し、福島県の海水魚に含まれる放射性セシウム濃度は大きく減少したのに対し、淡水魚では放射性セシウムの濃度がなかなか下がりず、阿武隈川においても現在、ヤマメなど一部の魚種で出荷が制限されています。淡水魚の放射性セシウム濃度は、同じ流域内でも地域や個体によって非常にばらつきが大きいことが、出荷制限の解除が遅れる一つの原因になっています。

そのため、私たちは福島県内の河川と湖において、魚やその餌に含まれる放射性セシウムの調査を行い、淡水魚の放射性セシウム濃度がばらつく原因や、河川や湖で放射性セシウムがどのように水生昆虫などの餌から魚に取り込まれるかを調べています。これまでに、淡水魚の放射性セシウム濃度は魚が何を食べるかによって大きく異なることが分かりました。漁業や遊漁の再開など、将来的な見通しをたてるための知見を提供することを目指し、今後も調査を継続していきます。



太田川での水生生物調査のようす
魚の餌となる水生昆虫も採集しています。



◎ 国立研究開発法人国立環境研究所福島支部 環境影響評価研究室 石井弓美子

三春に住んで今年で3回目の滝桜の開花になりました。調査地の太田川に通いながら、水の生き物たちに加え、川沿いの四季の変化を楽しんでいます。

コミュニティ福島 6月イベント情報

- ▶ 1日(土)・2日(日)
「光でたくさん電気をつくろう!」[コミュニティホム]
「荷造りひもでおしゃれなかごをつくろう!」[コミュニティクラフト]
- ▶ 8日(土)・9日(日)
「ペットボトルで霧箱をつくろう!」[コミュニティホム]
- ▶ 15日(土)・16日(日)
「スマートフォンでミクロの世界を撮影しよう!」[テーブルサイン]
「見えない空気のカ」[サインショー]
- ▶ 22日(土)・23日(日)
「風力発電を体験しよう」[コミュニティホム]
「ペットボトルでおもちゃをつくろう!」[コミュニティクラフト]
- ▶ 29日(土)・30日(日)
「ドライアイスであそぼう!」[テーブルサイン]
- ▶ 環境創造シアター国立科学博物館番組上映

※ イベントの詳細はコミュニティ福島ホームページをご覧ください。 <https://com-fukushima.jp/>

※ 環境創造センターまで町営バス(三春の里コース)が運行しています。

詳しくは「三春町町営バス時刻表(平成30年1月4日改正)」をご覧ください。

問い合わせ先 福島県環境創造センター 総務企画部 企画課 ☎ 61-6129 FAX 61-6119
住民課 生活環境グループ ☎ 62-2147 FAX 62-5155

